

2025年4月2日 厚木支部 岡村守之

2025年3月27日（木）晴れ時々曇り

小田急線相模大野駅から神奈中バスに約30分乗車して撮影地の公園入口に到着した。ここは県立と市立の公園を合併した広大な敷地で、季節の花々と種々の施設が被写体となります。例年桜咲くこの季節は、好天と桜の開花条件が合うかどうかには幹事は頭を悩ませます。当日は黄砂来襲で不鮮明な晴天且つソメイヨシノは2～3分咲き程度とベストとは言えない状況だった。常連の参加者6名は手始めに麻溝公園にある高さ55mの展望塔（グリーンタワー）にエレベーターで登り、そこから見える遠景の中にめぼしい地点を確認したり、近景の公園内撮影コースを暫し見下ろした。晴天なら見通せるランドマークタワーや更に遠いスカイツリーは生憎確認できなかった。

其の後展望塔を降りて、撮影予定コースを巡回しながら各自思い思いに撮影を開始した。花時計のある大花壇や展望塔の組み合わせ等を写真に収めてから、二つの公園を隔てる道路を跨ぐ「りりちゃん橋」を渡って次の相模原公園へと向かった。

相模原公園に入ると視界は一転した。向かった正面には各種形状に噴き出す噴水が縦長に並び、メタセコイヤの並木がその両サイドを挟むフランス式の庭園が奥深く続いていた。噴水路の両側には綺麗な花壇を設えて、訪れる人の目を楽しませている。庭園入り口付近には熱帯植物園と展示ギャラリーを擁するガラス張りの「グリーンハウス」がある。我々はその2階フロアで開催中の写真展を鑑賞したり、同階の展望室から噴水庭園の全貌を俯瞰撮影した。

再び噴水庭園に出た後庭園最奥部に向かい撮影を続け乍ら移動して行った。庭園の途中で近くの訪問者に依頼して集合写真を撮影した後、次の芝生広場に移った。



フランス式噴水庭園

写真左から 岡村、田村、飯島、倉林、石崎、梶原

芝生広場は子供たちが飛び回る広々とした空間で、周囲には各種類の桜や、辛夷等の花が咲き誇っていた。我々はそれらを撮影しながら右回りに周回し、正午を少し過ぎに公園管理事務所前の売店に到着した。

そこで各自缶ビールや軽食を購入してから店舗外のテーブル席を陣取り、楽しい歓談が始った。話が進み工業会支部活動に及んだところで参加者から今後の活動に対するアイデアがいくつか出された。小一時間休憩した後相模原公園の付属施設である桜の名所「せせらぎの園地」に移動し撮影を再開した。

「せせらぎの園地」ではソメイヨシノは2分咲きでしたが他種の桜が見頃を迎えていて、数十分程度撮ってから本日の撮影会を終了した。

公園に隣接する女子美術大学傍のバスターミナルまで10分程歩き、バスで相模大野まで戻り駅前の中華料理店で昼呑み反省会に移った。そこでお定まりのノミニュケーションで暫し盛り上がった後散会した。

久しぶりの再会ともあって、参加の皆さんは広い公園での撮影会を大いに満喫された様子でした。

(次頁以降に参加者の作品を添付)

今回の参加者（敬称略）：6名

飯島 和夫（横浜支部）、倉林 弘行（平塚支部）、石崎 一嘉（厚木支部）

梶原 譲（厚木支部）、田村 雅男（同左）、岡村 守之（同左）



麻溝公園&相模原公園



田村 雅男



梶原 護



倉林 弘行



飯島 和夫



田村 雅男



石崎 一嘉



岡村 守之



石崎 一嘉